

高校生のための街なかオープンカレッジ 2010.8.18

大学で学ぶことは何なの？ 大学の先に、社会や地域で何が待っているの！ 学生や市民も参加…



ソフトピア共同研究室

大学生、高校生のまちあるき



ハートフルスクエアGでファッションショー

高校生の皆さんは、受験・進学に向かって、どのような大学や学部で学びたいのか、いろいろと考えていると思います。岐阜経済大学・岐阜大学・岐阜市立女子短期大学が共同で開催するこのオープンカレッジは、こんなことを皆さんに伝えます。

■多彩な分野から学べる：経済学・経営学、まちづくり・自治・環境・文化・社会、デザイン・ファッション
情報、ファッション、まちづくりなどのテーマを取り上げて、いろいろな分野からの見方とその違い、討論などを通じて、高校までとは違う大学での学び方について、実際に体験してもらいたいと思っています。

■大学から、就職、社会や地域に開かれていくために

大学で学んだその先には何があるのか想像してみませんか。企業や市民の方々、少子化対策や若者定着などを図ろうとしている行政とも連携して、岐阜市の街なかで地域に開かれたオープンカレッジを行います。

8月18日(水) 午前の部：10時～11時半

①ファッションとまちづくり (村上真知子・岐女短)

「ファッションのまち岐阜」って？ 第2次世界大戦の終戦後、岐阜の復興とともに発展してきた岐阜のファッション産業は、今どんな状況にあるのでしょうか。なんとなく謎めいた駅前問屋街を覗いてみると、その栄枯盛衰の歴史を垣間見ることができます。岐阜の発展を支えてきた産業の歴史とこれからの課題と一緒に考えてみませんか。

②知的探究心で「豊かなまちづくり」に貢献する、

岐阜経済大学ソフトピア共同研究室の挑戦！

(佐々木喜一郎・岐経大地域連携推進センターコーディネーター)
ソフトピア共同研究室は、産[情報産業]・官[岐阜県、大垣市、岐阜市]・学[岐阜経済大学]の連携のもと、ICTを基盤とした共同研究や先端技術の開発、地域におけるICT化の推進を目的として活動しています。学生たちは、「まちづくりと情報技術」をテーマとして、地域の情報化や地域情報を発信する仕組みづくりに取り組んできました。この成果や今後の可能性について、開発したソフトウェア及びシステムの体験コーナーを開設し、具体的に紹介します。

午後の部：13時～15時半

③街なかの賑わいの作り方 (柳田良造・岐女短、富樫幸一・岐阜大)

岐阜市の駅前が、再開発を通じて大きく変貌しています。鉄道、バス、自転車などで高校生の皆さんも利用しているでしょう。どんな考え方によって「まち」を作っているのか、住民や訪れる人にとっての使い易さや魅力は何なのか。市民、学生、行政の皆さんと一緒に、大学での学び方の一つとしてタウンウォッチングとワークショップを体験しませんか。



岐阜駅 アクティブG 2階 (ぎふしまちなか歩きマップより)

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜・岐阜駅サテライト教室

□申し込み・問い合わせ先 岐阜大学地域科学部

7月12日より23日まで、郵送、FAX、e-mailのいずれでも、先着順で受け付け、余裕がある場合は当日参加も可能です。お申し込みは、個人でも、高校でまとめても結構です。

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学地域科学部

代表：TEL 058-293-3002 FAX 058-293-3008

chiiki@gifu-u.ac.jp